

第3回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

6級 (G)

答えには、「常用漢字表」にある漢字の字体、読みを使うこと。旧字体を使ってはいけない。

答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

(一) 次の——線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(20) 1×20

- 1 枝いっばいに梅が花をつける。
2 湖面にうすい氷が張っている。
3 卒業生に寄せ書きをおくる。
4 野球チームのメンバーが増えた。
5 一輪車を自在に乗りこなす。
6 夕食の後に居間でトランプをした。
7 日本の貿易の相手国を調べる。
8 不通になっていた道路が復旧した。
9 買い物をするとき消費税がかかる。
10 あざやかな色のきぬ糸で帯を織る。
11 リレーの決勝は接戦となった。
12 書きぞめのコンクールで入賞した。
13 自由研究のための資料を集める。
14 母から犬の散歩を任せられた。
15 駅の間所を略図にかいて説明する。
16 笛をふく友達の姿を版画にした。
17 雪解け水が川を勢よく流れる。
18 電車に向けてカメラを構える。
19 父は朝刊を読んでから出勤する。
20 罪をにくんで人をにくまず

(二) 次の——線のカタカナを○の中の漢字と送りがな(ひらがな)で書きなさい。(10) 2×5

- 〈例〉投ボールをナゲル。 投げる
1 示 時計のはりが十二時をシメス。
2 修 大学で天文学をオサメル。
3 測 池の水の深さをハカル。
4 快 ココロイ風がふさわたる。
5 燃 たいまつ火がモエル。

(三) 次の漢字の部首名と部首を書きなさい。部首名は、後の□から選んで記号で答えなさい。(10) 1×10

- 〈例〉花・茶 (ア) (サ)
効・勢 (1) (2)
婦・好 (3) (4)
余・倉 (5) (6)
故・政 (7) (8)
限・際 (9) (10)

Table with 2 columns: Kanji and部首名. Rows include: アくさかんむり イこぎとへん, ウのぶん エひとやね, オかたな カくち, キのぎへん クおおがい, ケおんなへん コちから

(四) 次の漢字の太い画のところは筆順の何画目か、また総画数は何画か、算用数字(1、2、3...)で答えなさい。(10) 1×10

- 〈例〉投 (5) (7)
何画目 総画数
団 (1) (2)
責 (3) (4)
準 (5) (6)
報 (7) (8)
圧 (9) (10)

(五) 漢字を二字組み合わせたじゆく語では、二つの漢字の間に意味の上で、次のような関係があります。(20) 2×10

- ア 反対や対になる意味の字を組み合わせたもの。(例:上下)
イ 同じような意味の字を組み合わせたもの。(例:森林)
ウ 上の字が下の字の意味を説明(修飾)しているもの。(例:海水)
エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。(例:消火)
次のじゆく語は、右のア〜エのどれにあたるか、記号で答えなさい。

- 1 停止 6 明暗
2 苦楽 7 開演
3 防寒 8 出現
4 敗因 9 昼夜
5 救命 10 予告

6級

(G)

(六) 次のカタカナを漢字になおし、一字だけ書きなさい。

- 1 血エキ型
- 2 ベン当箱
- 3 判タンカ
- 4 円周リツ
- 5 ヒ売品
- 6 芸ジュツ的
- 7 高品シツ
- 8 不トク意
- 9 美意シキ
- 10 習カン化

(20)

2×10

(七) 後の□の中のひらがなを漢字になおして、対義語(意味が反対や対になることば)と、類義語(意味がよく似たことば)を書きなさい。□の中のひらがなは一度だけ使い、漢字一字を書きなさい。

対義語

- 順風 — (1) 風
- 形式 — (2) 内
- 実名 — (3) 名
- 損失 — (4) 利
- 肉体 — (5) 神

えき・か・ぎやく・せい・よう

類義語

- 火事 — (6) 火
- 関心 — (7) 味
- 建造 — (8) 建
- 順番 — (9) 順
- 運送 — (10) 運

きよう・さい・じよ・ちく・ゆ

(20)

2×10

(八) 上の読みの漢字を□の中から選び、(一)にあてはめてじゅく語を作りなさい。答えは記号で書きなさい。

エイ	ジヨウ
(6) 遠	愛(1)・(2) 約 (3) 温
経(4)・(5) 星	

ア乗	イ常	ウ営	エ栄
オ永	カ状	キ泳	ク英
ケ条	コ衛	サ場	シ情

(九)

漢字の読みには音と訓があります。次のじゅく語の読みは□の中のどの組み合わせになっていますか。ア～エの記号で答えなさい。

ア音と音	イ音と訓
ウ訓と訓	エ訓と音

- 1 設定
- 2 手数
- 3 仕方
- 4 粉薬
- 5 独立
- 6 余分
- 7 綿雪
- 8 紙製
- 9 仏様
- 10 毎月

(20)

2×10

(十) 次の□線のカタカナを漢字になおしなさい。

- 1 酸ソは色にもおいてもない気体だ。
- 2 ソ母と千羽づるを折った。
- 3 つくえをまど側にウツす。
- 4 好きな詩をノートに書きウツす。
- 5 電話は十九世キに発明された。
- 6 キ則正しい生活を心がける。
- 7 録画したテレビ番組をサイ生する。
- 8 外国の大統領夫サイが来日した。
- 9 学級会でばくの提案がサイ用された。

(18)

2×9

(十一) 次の□線のカタカナを漢字になおしなさい。

- 1 水玉もよりのヌノでエプロンを作る。
- 2 弟はホイク園に通っている。
- 3 おじは外交官になるユメをかなえた。
- 4 校庭のサクラの開花が待ち遠しい。
- 5 キャプテンをカコんで作戦を練る。
- 6 親切にしてくれた友達にカンシャする。
- 7 先生から合唱のシドウを受ける。
- 8 この村の人口はゲンショウしている。
- 9 ケワしい山道を一列になって登る。
- 10 西の空がアツイ雲におおわれる。
- 11 目がかゆいのでガンカ医院に行く。
- 12 空港は旅行者でコンザツしていた。
- 13 いちごはビタミンCがホウフな果物だ。
- 14 農家の人広い畑をタガヤしている。
- 15 小雨がタえ間なくふっている。
- 16 水泳教室で泳ぎ方のキホンを習う。
- 17 辞書で語句の意味をタシかめる。
- 18 青い毛糸でマフラーをアむ。
- 19 強風のために船がケッコウした。
- 20 薬も過ぎればドクとなる。

(40)

2×20

氏名

Blank box for name